

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【公開番号】特開 2004-222279 (P2004-222279A)

【公開日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報 2004-030

【出願番号】特願 2004-2699 (P2004-2699)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

B 4 1 J 3/00 B

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

色再製装置色素空間での色素値を、色独立 (color independent) の色空間での色値に変換し、

前記色独立の色空間での値をスケーリング (scaling) して、得ることのできる最大全域 (maximum gamut) を、装置色素空間での色素値で満たし、そして、

前記色独立空間での前記スケーリングされた値に対応する色素空間値を決定する、ステップを含み、

前記色独立空間での、前記スケーリングされた値に対応する前記色素空間値が、画像を生成するために印刷装置を制御するために利用可能である、

色再製装置のための拡張された色全域を得るために利用可能なグレイ成分置換の方法。

【請求項 2】

前記決定された色素空間値を円滑化 (smoothing) するステップを更に含む、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

前記色素空間値を決定するステップが、四面体補間を用いて前記色素空間値を決定するサブステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

色再製装置色素空間での色素値を、色独立 (color-independent) 色空間での色値に変換する第 1 の変換器、

前記装置色素空間での前記色素値で得られ得る最大全域を満たすために、前記色独立の色空間での前記値をスケーリングするワーパー (warper)、および、

前記色独立色空間での前記スケーリングされた値に対応する色素空間値を決定する第 2 の変換器、

を備え、

前記色独立空間での前記スケーリングされた値に対応する前記色素空間値が、画像を生成するために印刷装置を制御するために利用可能である、

色再製装置に対する拡張された色全域を得るために利用可能なグレイ成分置換装置。

【請求項 5】

前記決定された色素空間値を円滑化する円滑器 (smoother) を更に備える、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 2 の変換器が、四面体補間を用いて、前記色素空間値を決定する、請求項 4 に記載の装置。